北太平洋と日本における さけます類の資源と増殖

岡本 康孝（おかもと やすたか）（さけますセンター 業務推進部）

2005 年の北太平洋

漁獲数

第 14 回 NPAFC 年次会議における各国の報告によると，2005 年 1-12 月の北太平洋の漁獲数は 4 億 9,139 万尾で，前年の 3 億 4,391 万尾より 43%増加しました（図 1A）．

これを魚種別に見ると，カラフトマスが最も多い 3 億 4,397 万尾で全体の 70%を占めており，前年の 1 億 8,247 万尾に比べ 86%増加しました．次いでサケが 8,827 万尾（構成比 18%，対前年比 89%），ベニザケが 5,106 万尾（構成比 10%，対前年比 98%）と続き，これら 3 魚種で 98%を占めています．ギンザケとマスノスケは，それぞれ対前年比 88%，90%でした（図 1A）．

地域別では，アラスカ州が 2 億 2,189 万尾と最も多く，以下，ロシア 1 億 8,161 万尾，日本 7,550 万尾，カナダ 1,016 万尾，WOCI 220 万尾，韓国 2 万尾と続いています（図 1B）．

人工ふ化放流数

2005 年 1-12 月に人工ふ化放流された幼稚魚数は 48 億 4,660 万尾で，前年の 49 億 9,150 万尾に比べ 2.9%減少しました．

魚種別ではサケが 29 億 7,125 万尾で半数以上を占め，これに次ぐカラフトマスの 12 億 4,394 万尾と合わせると全体の 8 割以上を占めます．

地域別では日本が 20 億 246 万尾と最も多く，以下，アラスカ州 14 億 2,764 万尾，ロシア 6 億 8,412 万尾，カナダ 4 億 3,761 万尾，WOCI 2 億 8,385 万尾，韓国 1,093 万尾と続いています（図 1C）．

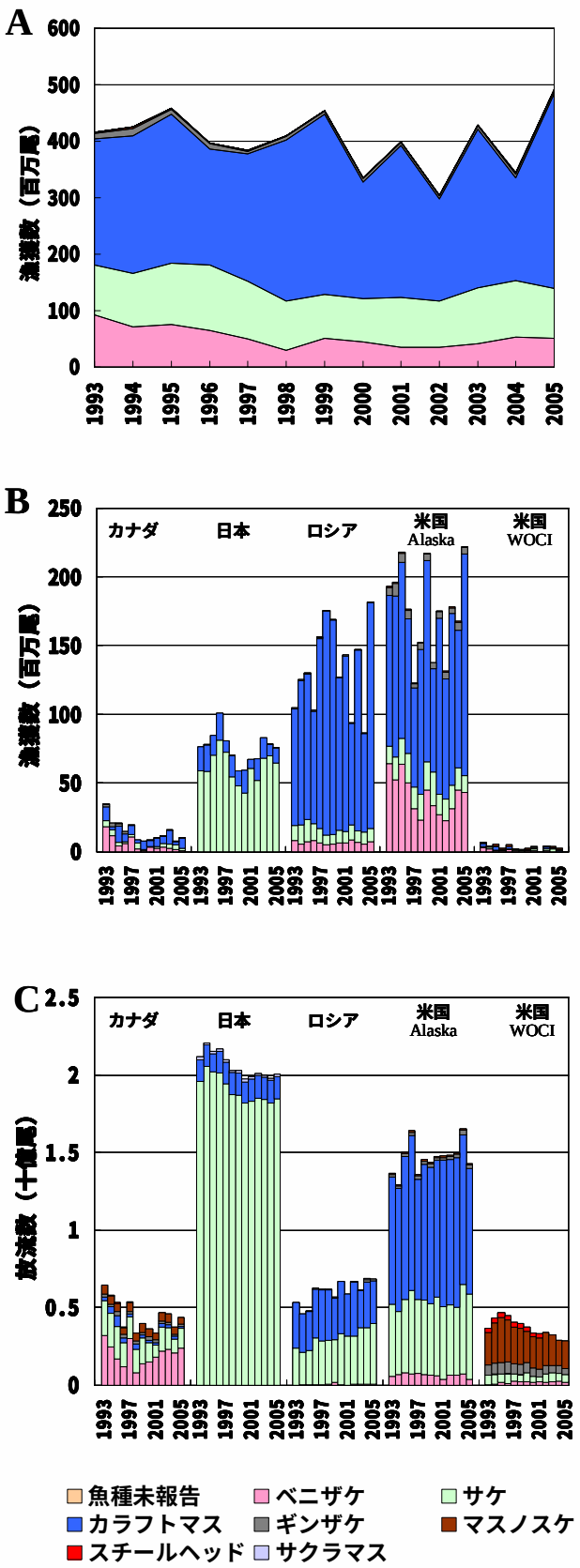

図1. 1993-2005年の北太平洋におけるさけます類の魚種別漁獲数(A)，地域別魚種別の漁獲数(B)及び人工ふ化放流数(C)．1993-2001年は「NPAFC Statistical Yearbook」による商業漁獲数の確定値だが，2002年以降はNPAFC年次報告等で示された暫定値である．1998年までのロシアにはEEZ（排他的経済水域）で他国が漁獲したものを含む．WOCIはワシントン，オレゴン，カリフォルニア，アイダホ州の合計．図1-BのWOCI(2002)のデータは未報告．韓国は他国と比較してわずかなため，図では省略している．

2006 年度の日本

サケ

2006 年度の来遊数（沿岸での漁獲と内水面での捕獲の合計）は 1 月 20 日現在で 6,847 万尾，前年度同期比 96%となっています（図 2）．来遊数の年変動をみると，1996 年度に過去最高を記録した以降，4 年連続で減少しましたが，2000 年度を境に増加傾向に転じ，近年は高水準で推移しています。採卵数は 22 億 2,800 万粒を確保し，計画数 21 億 6,650 万粒を満たしていることから，放流数もほぼ計画どおりの 18 億 500 万尾程度となることが見込まれます．

カラフトマス

主産地である北海道における 2006 年度来遊数は 562 万尾で前年度比 62%となりました．カラフトマスの来遊数は 1994 年に急増して以来，隔年の資源変動を示し，1994-2002 年の偶数年級群での平均が 1,500 万尾，奇数年級群のそれは 700 万尾で，両者にはおよそ 2 倍の開きがありました．しかし近年ではその傾向が崩れ，豊漁年と不漁年の順序が逆転しているように見えます．そんな中，2006 年度についても従来でいう豊漁年にあたる年でありながら，不漁年の昨年よりも少ない来遊数となりました．なお，採卵数は 1 億 7,300 万粒でほぼ前年と同数なので，放流数も前年並みの 1 億 4,000 万尾程度となることが見込まれます（図 3）．

サクラマス

2006 年度の北海道における河川捕獲数は 12,300 尾で前年度比 308%と 3 倍以上になり，少なかった前年度から平年並みの値に戻りました．採卵数は 400 万粒でほぼ前年度並みとなっております．なお，本州の資源については現在調査中です（図 4）．

ベニザケ

2006 年度の河川捕獲数は 1001 尾で前年度比 107%と増加し，1995 年以来の千尾台の捕獲数となりました．採卵数は 82 万粒と前年度の 3 倍以上になりました．当センターでは北海道の 3 河川でベニザケの人工ふ化放流に取り組んでいますが，1990 年代前半に比べると捕獲数が少ない状態が続いています．

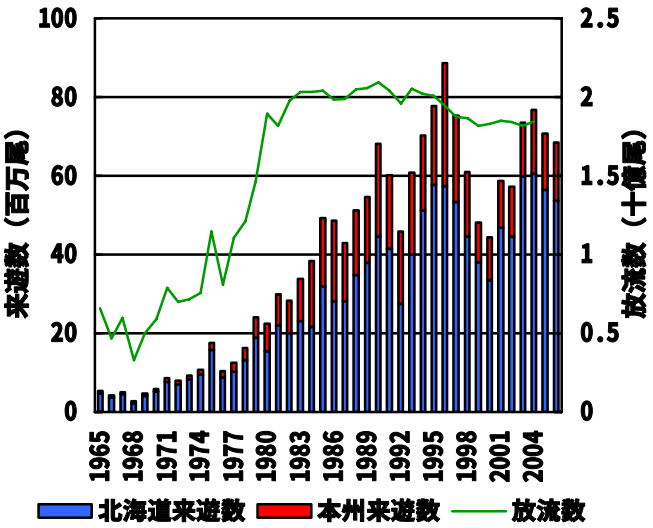

図2. 1965-2006年度の日本におけるサケの来遊数と人工ふ化放流数．2006年度来遊数は1月20日現在.

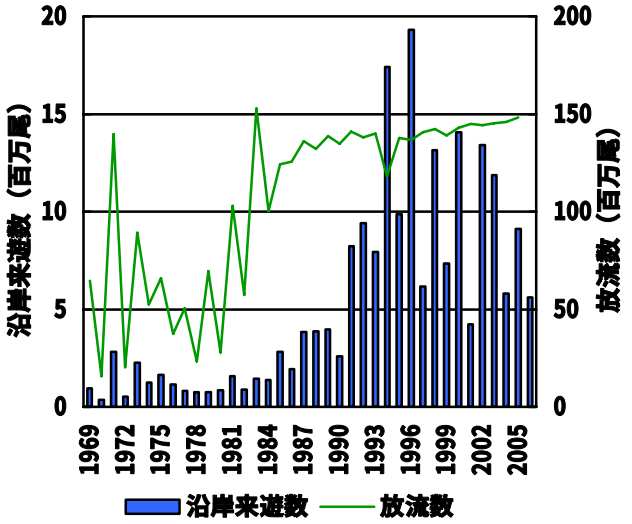

図3. 1975-2006年度の日本におけるカラフトマスの来遊数と人工ふ化放流数.

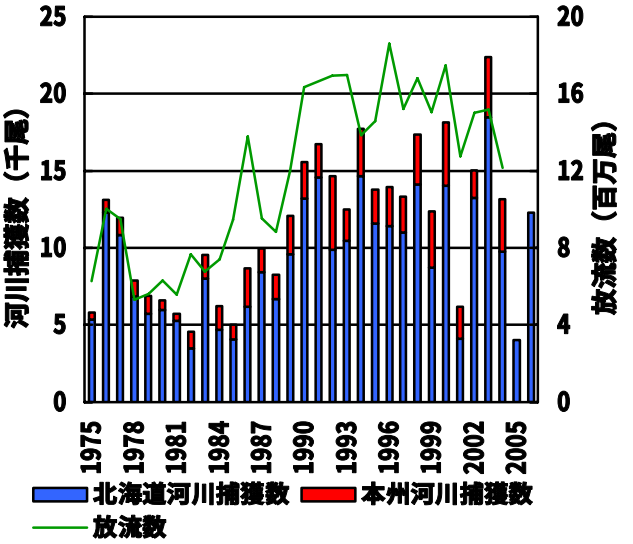

図4. 1975-2006年度の日本におけるサクラマスの河川捕獲数と人工ふ化放流数.